



春日部市立桜川小学校 令和6年9月30日発行

# 桜っ子 10月号

春日部市大倉496-1 TEL 746-6238

児童数587人(9/30現在)

桜川小HP <https://schit.net/kasukabe/essakuragawa/>



学校教育目標  
進んで学ぶ子  
(かしこく)  
思いやりのある子  
(やさしく)  
体をきたえよく働く子  
(たくましく)

「瞳輝く 桜っ子」を地域と共に ほぐくお やさしさと笑顔あふれる学校

10月の生活目標 時計を見て行動しよう

## ドリーム集会



計画～準備



本番当日



### 「言葉を大切に！」 ～ウェルビーイングな桜川小へ～ 校長 小野 誠

2学期が始まってから、早1か月が経ちました。「残暑」という言葉はもはや一昔前のものになりつつあると感じます。今や、9月(特に前半)は真夏からの酷暑がずっと続き、あえて言葉で表すなら「続暑」といったところでしょうか。そんな中でも、桜っ子は学習に運動に遊びに元気いっぱいでした。そして、お彼岸を過ぎたあたりから、少しずつ暑さも和らぎ、過ごしやすい気候になりつつあります。『開校50周年記念 秋季運動会』に向けた練習も始まりました。

9月18日付埼玉新聞に、「『もふもふ』5割超に浸透 ～文化庁の国語世論調査『まったり』『さくっと』も～」という見出しの記事が載っていました。文化庁が行った2023年度の『国語に関する世論調査』の結果公表が主な内容でした。日常会話で使われる新しい表現(例:「もふもふ」「まったり」「きゅんきゅん」...)の浸透度をみる設問の結果に、私は興味を持ちました。一昔前には誰も使っていなかった言葉が、時代の変化とともに、その意味を誰しもが理解できるようになる(先ほどの例の「 」内の言葉の意味、皆さん、わかりますよね?)というのは、とても興味深く思います。長年行われてきた「2学期スタートと同時に、運動会練習もスタート!」という小学校での「当たり前」が変化しつつある今、冒頭の「残暑」という言葉も、今後使われなくなっていくのでしょうか。

私は、2学期始業式の式辞で「ウェルビーイングな桜川小」にしていきたいと思います、という話を子供たちにしました。もっと分かりやすく言うと「自分も周りのみんなも幸せな学校に」ということです。上に書いたように「言葉」そのものが時代とともに変化していても、その使い方「言葉を発する側、受け取る側がどんな気持ちになるのか」が決まる、ということに変わりありません。「たった一言が人の心を傷つける たった一言が人の心をあたためる」とも言います。「言葉を大切に!」という意識を皆が持つことで、行動も変容していき、「ウェルビーイングな桜川小」が実現できると考えます。

10月は運動会、校外学習をはじめとする様々な行事があります。そんな行事で、また日々の学習で、桜っ子が輝けるように教職員一同も「言葉を大切に」しながら努めてまいりますので、今月もこれまで同様のご理解・ご協力を、よろしくお願いいたします

【ドリーム集会】 1年生から6年生までの縦割りグループで様々な遊び、ゲーム、アトラクションの「お店」を考えて準備をし、当日は前半と後半のグループに分かれて、みんなで仲良く遊ぶ集会。

子ども達の日々の様子をブログでも紹介しています。ぜひご覧ください。

